

神奈川

病気の前段階である「未病」に関する情報を発信する「未病バレー“BIOTOPIA (ビオトピア)”」の第1期施設が今年4月、足柄上郡大井町にオープンした。神奈川県、同町、コーヒー通販のブルックスホールディングス(横浜市青葉区)の3者が連携して整備し、未病改善や未病関連産業支援の拠点を目指す。

人間の心身状態はここまですべて健康で、ここからが病気に明確に分けられない。そこで東洋医学では、健康と病気の間を連続的に変化している状態を「未病」と定義。普段の生活の中で心身の状態を知り、そのバランスを整えて、より健康な状態に近づけていく(未病を改善する)ことが大切としている。

神奈川県は人口減少や急速に進む高齢化への対策として、未病改善に着目。医療・ヘルスケア産業の創出と健康長寿日本一を同時に目指す「ヘルスケア・ニューフロンティア」政策などを推進している。県西地域を「未病の戦略的エリア」に位置づけ、地域活性化プロジェクトに取り組むのもその一環だ。

未病バレーが整備されているのは、同県大井町の第一生命保険大井本社の跡地(約60ヘクタール)。第一生命は1968年から東京・日比谷との2本社制をとってきたが、組織再編やビル老朽化に伴い、2011年に大井本社を引き払った。跡地を取得したブルックスHDは15年、大井町と共同して県の地域活性化プロジェクトに応募し、採用された。

ビオトピアには「未病改善の取り組みにより、いのち(バイオ)輝く社会を実現する理想郷(ユートピア)」という意味が込められている。第1期施設としては、「カラダとココロに優しい」をテーマにした「マルシェ」、自然を体感できる「森の学校」や「森のみち」、各種のイベントに使えるステージ、オール天然芝のフィールドなどがオープンした。

マルシェの物販コーナーでは、採れたての地元食材やえりすぐったオーガニックフードを販売。フレンチレストランではフランス国家最優秀職人賞を受賞したシェフ監修の「おいしい未病メニュー」、和食レストランでは体調に合わせて食材を選べる「一人鍋」、和カフェでは地酒や軽食、和スイーツなどを提供している。

県は、マルシェ内に体験型施設「me-byo(未病)



第1期施設としてオープンした、地元食材やオーガニックフードを販売する「マルシェ」の物販コーナー

「未病バレー」 第1期施設がオープン

エキスポプラザ」を開設した。ガイダンスコーナーでは、映像を使って未病改善の方法を分かりやすく紹介。片足立ち、いす立ち上がり、反復横跳びなどでバランス感覚、筋力、敏捷性などを自己チェックできるコーナーも設けた。未病改善に関する相談に応じるコンシェルジュも常駐している。

ビオトピアはオープンに先立って、フランスの「ビオトピア」と姉妹施設協定を締結した。フランスの施設はエコツーリズムの拠点となっており、周辺の自然環境とそれに関連した博物館やアトラクションも運営しているという。両施設は今後、情報交換や相互PR、共同プロジェクトの企画・実施などを予定している。

ブルックスHDによると、ビオトピアのフルオープンには21年春以降で、メディカルSPA、フォレストヴィラ、フィットネススポットなどを追加整備する予定。同社はビオトピアの“アンテナショップ”として、「ブルックス未病カフェ」を昨年7月、東京・原宿にリニューアルオープンするなど、都内への情報発信も強化している。